

教科	美術	学年	第2学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
デザイン「委員会・係・クラブを考えよう」	7	・伝えたい内容やイメージをもとに伝える相手や場面などからテーマを生み出し、分かりやすさと形や色彩などの調和を考え、工夫してマークをデザインする。	・具体物や文字などの形や色彩などが感情にもたらす効果や造形的な特徴などをもとに伝達する内容を全体のイメージでとらえることを理解している。 ・意図に応じて自分の表現方法を追求して制作の順序などを総合的に考えながら見直しをもって表現している。	・伝える内容やイメージをもとにわかりやすさと形と色彩などの調和を考え、表現する構想を練っている。 ・伝えたい情報やイメージとの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の意図と創造的な工夫について考える等して見方や感じ方を広げている。	・美術の創作活動の喜びを味わい、伝達のデザインの目的や機能を考えて構想を練ったり、意図に応じて工夫し、見直しを持って表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。
絵画「私の空、花、夢」	7	・イメージを形や色彩などで表すことに関心を持ち、感じ取ったことや考えたことをもとに主題を生み出し、形や色彩などの効果を考え、技法を生かして創造的に表現する。	・形や色彩が感情にもたらす効果や造形的な特徴などを基に形や色彩の組み合わせを全体のイメージでとらえることを理解している。 ・絵の具の技法を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追及して創造的に表現している。	・イメージの世界をもとに主題を生み出し、形や色彩の効果を考え、心豊かに表現する構想を練っている。 ・造形的なよさや美しさを感じ取り、表現の意図と創造的な工夫などについて考える等して見方や感じ方を深めている。	・美術の創作活動の喜びを味わい、主体的にイメージをもとに構想を練ったり、創造的に表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。 ・主体的に造形的なよさや美しさを感じ取り、表現の意図と創造的な工夫などについて考え、見方・感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
工芸「寄せ木工芸」	12	・木の実しさ、質感、加工方法などに着目し、素材の持ち味をとらえ特性や用具を生かし、見直しをもって表す。 ・木の良さや美しさ、使う場面や機能などをもとに材料の特性を考え、構想を練ったり、鑑賞したりする。	・木の持つ色や質感、特性が感情にもたらす効果やぬくもりなどを基に全体のイメージでとらえることを理解している。 ・木の加工方法の基礎をきちんと理解し身につけ、意図に応じて制作の順序などを考えながら見直しをもって表している。	・木の特性や美しさ等を基に使う場面や使う人の気持ちなどから主題を生み出し、使いやすさと美しさの調和を考え、表現する構想を練っている。 ・木の良さや使いやすさとの調和のとれた美しさを感じ取り、表現の意図と工夫などについて見方や感じ方を広げている。	・創造活動の喜びを味わい楽しく目的や機能考えた表現の学習活動に積極的に取り組もうとしている。 ・創造活動の喜びを味わい楽しく作品などの鑑賞の学習活動にとり組もうとしている。
デザイン「やさしさのデザイン」	5	・形や色彩、素材などに着目し、自分の意図が伝わるよう表現方法を工夫して表す。 ・ユニバーサルデザインの精神や機能と美しさの調和をめざして作品の構想を練ったり、製品の鑑賞をしたりする。 ・使う人の立場や気持ちを考えてデザインすることやその工夫に関心を持ち意欲的に取り組む。	・形や色彩、素材などの性質やそれらが感情にもたらす効果や造形的な特徴などを基に全体のイメージでとらえることを理解している。 ・自分の主題が他者にきちんと伝わるよう、意図に応じて表現方法を工夫し追求して表している。	・ユニバーサルデザインの精神や使う人、場所など社会との関わりを基に機能と美しさとの調和などから主題を生み出し、人へのやさしさにあふれたデザインの構想を練っている。 ・シンボルマークの機能と美しさの調和を感じ取り、その意図と工夫について考える等して見方や感じ方を広げている。	・美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に目的や機能考えた表現の学習活動に積極的に取り組もうとしている。 ・創造活動の喜びを味わい作品や美術の働きなどの鑑賞の学習活動にとり組もうとしている。
絵画「水墨画の世界」	4	・墨の濃淡や特性、線の勢いなどに着目し墨による表現の効果を捉え理解し、墨の技法などを工夫して表す。 ・墨による表現の特性やイメージをもとに筆使いや水加減の工夫を考え構想を練ったり、鑑賞したりする。 ・墨による表現の特性を生かして表すことに関心を持ち、意欲的に取り組む。	・墨の濃淡や特性、線の勢いなどが感情にもたらす効果や造形的な特徴などを基に単色による作り出されるイメージを全体で捉えることを理解している。 ・墨の特性や道具の使い方を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表現している。	・自分の表したいイメージを基に主題を生み出し、濃淡や線の効果を考え創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。 ・造形的な良さや美しさを感じ取り、作者の心情やその意図と工夫について考える等して見方や感じ方を広げている。	・美術の創造活動の喜びを味わい主体的に感じ取ったことや考えたことなどを基にした表現の学習活動に取り組もうとしている。 ・主体的に作品などの鑑賞活動に意欲的に取り組もうとしている。